

4-(1)-⑰ 産学官連携

本学は地元自治体(山形県・山形市)が学校法人と大学を新たに設置する「公設民営」方式により設立された大学であるという経緯もあり、芸術・デザイン系大学としては全国に先駆けて開学当初より積極的に地域や企業との連携に取り組んできています。

産学連携オフィスである「共創デザイン室」及び「文化財保存修復研究センター」など、学内の研究機関による受託研究は、700件近くにのぼり、芸術・デザインという教育研究の特色を生かし、東北地域になくはない大学としての存在感をますます高めています。

■ 共創デザイン室 (HP: <http://gs.tuad.ac.jp/kyoso/>)

平成23年5月には地域と大学との交流拠点として大学から約2km離れた山形市松見町に『やまがた芸術学舎』がオープン。これまで産学連携窓口の役割を担ってきた「総合研究センター」を「共創デザイン室」にリニューアルし、このやまがた芸術学舎に入所させ、デザインのショールームを兼ねた地域産業や行政との連携窓口として地域との連携活動の高度化を図ることになりました。共創デザイン室には専任職員が常駐し、受託研究業務の相談に応じるとともに、デザイン系の教員4名の主幹研究員が各種バックアップを行なっています。

1 受託研究事業

産学連携を中心とした地域との連携に関する窓口として年間を通じて相談業務を実施しており、平成25年度の相談件数は70件、そのうち受託研究に結びついたものが29件、委託研究費の総額は約2,590万円。平成24年度と比較すると受託件数としては5件減少しておりますが、1件あたりの受託契約額が増加しており、堅調に推移しているとともに、東北の産業振興にも一役買っているものと考えられます。

2 教育と産業界との橋渡し

デザイン工学部の教育方針である「産学連携、地域プロジェクトなどの積極的導入によるリアリティのある実践」を側面から支援。平成25年度は次のプロジェクトにおいて企業との覚書締結等側面支援を実施しています。

- ・東北パイオニア株式会社(テーマ:スピーカーメカトロニクスを応用した有機EL照明)
- ・デンソー株式会社(テーマ:宮城県の電灯産業からヒントを得たカー用品提案)
- ・本田技術研究所(テーマ:移動とエネルギークレイモデルの制作)

3 地域企業との交流活動

地域の産業と芸術・デザインとの橋渡しのため、企業や行政等関係機関とも積極的に連携しており、平成24年10月には、山形県、NPO法人山形県デザインネットワーク及び本学共創デザイン室の三つの機関からなるデザイン相談ネットワーク「D-Link」を創設。11月から12月にかけては、優れたデザインの県産製品を選定・顕彰する山形エクセレントデザイン受賞製品の展示をメインに、県内のデザイナー情報や東北芸術工科大学の産学連携プロジェクトの展示などを同時に行う「山形エクセレントデザイン展」をやまがた芸術学舎で開催し、子どもから大人まで多くの来場者を迎えました。また、地域の産業とのより実践的な交流活動を目指し平成23年度にスタートした産学連携セミナー『共創のテーブル』の活動をより実践的内容に深化させ、企業間共創による「食と生活」をテーマとした製品開発と地域産業のブランド化に挑戦しました。

ほかにも以下のような団体等にも積極的に参画することで地域の動向やニーズの把握、大学情報の発信等に努めています。

- ・株式会社山形銀行との包括連携協定に基づく地域支援活動
- ・東北ニュービジネス協議会
- ・むらやまインダストリー倶楽部(事務局:山形県村山総合支庁)
- ・プラットフォームやまがた連絡協議会(事務局:山形県企業振興公社)
- ・雪みらい推進機構(事務局:山形県村山総合支庁)
- ・仙台クリエイティブ・クラスター・コンソーシアム(事務局:仙台市経済局)

4 知的財産保護等への取り組み

学生や教員による創作に関する知的財産保護等への取り組みも重視しており、平成22年度からは、独立行政法人 工業所有権情報・研修館による「広域大学知的財産アドバイザー」事業に参画。連携大学との情報交換などを実施しながら知的財産保護等のための体制づくり及び諸規程の見直し等に取り組んでいます。